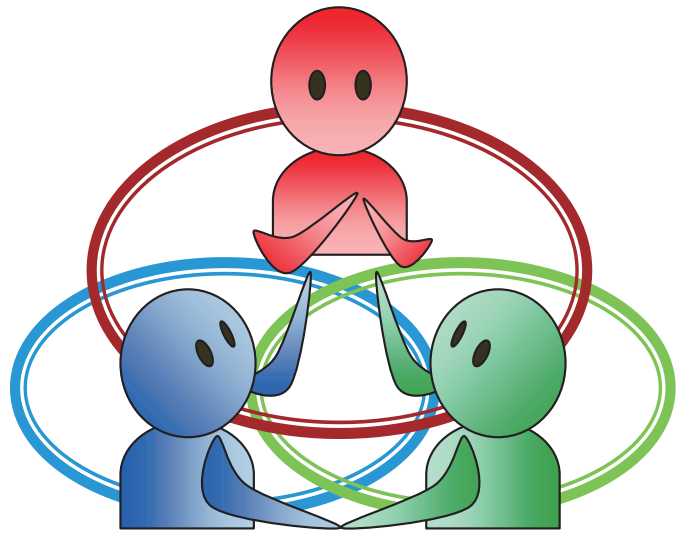
岡山県がん診療連携協議会

岡山大学病院
岡山済生会総合病院
岡山赤十字病院
倉敷中央病院
津山中央病院
国立病院機構　岡山医療センター
川崎医科大学附属病院

岡山県がん診療連携協議会　　平成22年7月作成

私の診療手帳
―大腸―



岡山県がん診療連携協議会

かかりつけ医・拠点病院受診時には
この冊子を忘れずにお持ちください。

私のプロフィール

氏名		生年月日	年　月　日
住所			
TEL	自宅　－　－	携帯	－　－
身長	cm	体重	年　月　日 kg
家族の連絡先	氏名		続柄
	連絡先	TEL:	
がん拠点病院			
医療機関名			
科　名			
住　所			
ＴＥＬ			
担当医			
MSW名			
地域連携室 TEL			
かかりつけ医			
医療機関名			
住　所			
ＴＥＬ			
担当医			
薬局薬剤師			
薬局名			
連絡先住所			
ＴＥＬ			
担当薬剤師			

－この手帳を拾われた方へお願い－

この手帳は私にとって大切なものです。もしどこかに落ちているところを見つけられましたら、お手数ですが1ページの連絡先のいずれかにお知らせ下さいますよう お願い申し上げます。

この連携パスは大腸がん術後の患者さんのために、かかりつけ医と岡山県がん診療連携拠点病院とがお互いに協力しながら、大腸がん術後の効率的な経過観察を行うことを目的として作成されました。

この連携パスについて、ご意見がございましたら下記にご連絡ください。

発行元：岡山県がん診療連携協議会
連絡先：

住　所：

電　話：

非売品

連携パス確認のため、ここにコピー貼布

あるいは、P9～14の該当パス名を
赤丸で付して下さい。

連携情報共有書　（平成 ___（２０１_）年___月__日）

（がん拠点病院→かかりつけ医）

かかりつけ医	医療機関名		科	
	医師名	先生 侍史		
がん拠点病院	医療機関		科	
	医師名			
基礎疾患	□　　□ □　　□ □ ：　　□なし　□あり　□不明			
大腸がん治療歴	手術日：　　年　　月　　日 pT：　pN:　pM:　pStage: □化学療法 □放射線療法 □その他			
合併症	□なし　□あり □糖尿病　□高血圧　□脳血管疾患　□心疾患　□腎疾患 □その他　（　　）			
アレルギー	造影剤アレルギー　□なし　□あり その他　□なし　□あり　（　　）			
既往歴	□　なし　□　あり　（　　）			
喫煙歴	□　なし　□　あり　（喫煙量　　本/日　　年間　）			
家族歴	□　なし　□　あり　（　　）			
現在の治療	□未治療 □　（　　mg/日） □　（　　ml/回、週　　回） □　（　　） □その他　（ ）			

はじめに

大腸癌の手術を受けられた患者様へ

　退院後は5年間手術の後遺症や再発の有無などの体の調子を観察させていただきます。
この経過観察は原則として地域のかかりつけ医と拠点病院で連携して行うことを考えております。
　病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医で行い、必要時には拠点病院に受診していただきます。
ちょっとした体調の変化や異常があればまずかかりつけ医にご相談下さい。

夜間・休日などかかりつけ医を受診できない場合は
病院代表
まで連絡下さい。

　2ヶ所の通院は大変と感じられるかもしれませんが、このような連携をとることは患者様の日ごろの状態をかかりつけ医で把握することで、異常の早期発見に繋がるとともに、当院を受診していただいた際の待ち時間の短縮にもなります。ご理解いただき、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

★定期受診は5年目まで
★定期受診日以外でも必要があれば受診

～メモ～

もくじ

- 退院後の日常生活……5
- 退院後の食生活……6
- 退院後もこれだけは忘れずに……7
- 各種術後連携パス、連携治療同意書
  ……9～
- 術後経過観察予定表……15～
- メモ……35～
- 大腸がん術後連携パス……37
  （コピーしたものを貼付あるいは
  9～14 の該当パス名を赤丸）

退院後の日常生活

手術後におこりやすい症状について

大腸を切り取ったために栄養吸収や食事摂取量の低下，それらに伴う体重減少などのトラブルはほとんどありません。しかし排便習慣は術前と変わってしまいます。術後1～2ヶ月間はやや軟便の状態となることが多いですが、その後便秘気味になる場合もあります。

特に直腸を切除した場合には、便をためる能力と便を押し出す能力が低下するため、 1回の便量が減少し、排便の回数が増加したり、1回で全てできらず、残便感があるなどの排便機能障害をきたします。

また、小腸や大腸の癒着（ゆちゃく）により、内容物の通過不良が生じ、腹部の張りを感じたり、吐き気や嘔吐を伴い排便が止まる腸閉塞（ちょうへいそく）となる場合があります。

これらの症状は、多くの場合食事療法や下剤や消化薬でコントロールすることができ、術後一定の期間がすぎると生じにくくなります。

社会復帰に向けて

社会復帰が可能となる時期は、年齢や体力、社会的状況、仕事内容、手術術式などにより異なります。退院後の仕事内容が主にデスクワークであれば術後1ヶ月程度で、腹筋をよく使う運動や仕事であれば術後2～3ヶ月くらいを目処に社会復帰が可能と考えます。

○:必須項目　△:必要時に行います

かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医と拠点病院
4年10ヶ月	4年11ヶ月	5年
適宜受診		月　日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		○
		○
		○
△	△	△

～メモ～

大腸がん術後予定表(4年7ヶ月～5年)

（術後）			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			4年7ヶ月	4年8ヶ月	4年9ヶ月
			適宜受診		
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重				
	視触診	腹部理学所見			
		一般的内科的診察			
		直腸指診（直腸癌）			
採血	血算・生化学		△	△	△
	CEA・CA19-9				
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
自己検診	体重				
	腹部の症状(はりや痛み)はないか				
	便通の異常はないか				
	吐き気・嘔吐はないか				
	全身倦怠感はないか				
	口内炎はないか				
	そのほか気になるところはないか				

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

退院後の食生活

食生活に注意して

原則的には、食事の種類に制限はありません。つまり、何を食べてもかまいませんが、食物繊維が多く含まれているものや消化しにくいものは、腸閉塞の原因となることがありますので、術後３ヶ月は控えたほうがよいでしょう。

最も基本的なことは、おいしく、ゆっくり、楽しく、食べることです。次のことに留意して、規則正しく、バランスの良い食事を心がけましょう。また、ほどほどならアルコールを飲むことも可能です。

注意した方がよいおなかの症状について

日頃から自分の排便状態を把握しておきましょう。食事・生活習慣に注意しても便秘が続く場合、下剤が必要となりますので、担当医に相談しましょう。

下痢の場合は、消化の良い食品をとり、水分を制限せず、逆に補うようにしましょう。食事を少量にして回数を増やすことで、消化管の負担が軽くなり、下痢が改善することがあるので試してみてください。

直腸手術後の頻便は半年くらいで1日5回前後に落ち着く場合が多いのですが、個人差があります。日常生活に支障をきたしようであれば、担当医に相談してください。

おなかが張って痛くなり、吐き気や嘔吐を伴い排ガス、排便がない場合は腸閉塞が疑われます。担当医にすぐ相談しましょう。

退院後もこれだけは忘れずに！

定期的な診察や検査に行きましょう

術後5年を目処に、定期的な診察や検査を行います。診察や検査の間隔は、手術後の状態によって違いますから、医師の指示通り、決められた日に診察や検査を受けるようにしてください。なお、定期検査は大腸がんを対象としているものです。他の病気全てがわかるものではありません。

術後補助化学療法について

手術によりがんを切除できた場合でも、リンパ節転移があった場合に、再発率が高くなることが知られています。このような場合、手術を行った後に抗癌剤療法を行うことで、再発を予防できるあるいは再発までの期間を延長できることがわかっています。このような治療を、術後補助化学療法といいます。術後補助化学療法の対象は危険因子のある一部のステージⅡ期とリンパ節転移があるステージⅢ期の患者さんです。手術に引き続き、半年間の抗癌剤投与を行うのが現在の標準治療です。

○:必須項目　△:必要時に行います
□:ステージⅢ大腸癌の際には実施

かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医 または 拠点病院
4年4ヶ月	4年5ヶ月	4年6ヶ月
適宜受診		月　日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		□
		□
△	△	△

～メモ～

大腸がん術後予定表(4年1～6ヶ月)

（術後）			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			4年1ヶ月	4年2ヶ月	4年3ヶ月
			適宜受診		
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重				
	視触診	腹部理学所見			
		一般的内科的診察			
		直腸指診（直腸癌）			
採血	血算・生化学		△	△	△
	CEA・CA19-9				
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
自己検診	体重				
	腹部の症状(はりや痛み)はないか				
	便通の異常はないか				
	吐き気・嘔吐はないか				
	全身倦怠感はないか				
	口内炎はないか				
	そのほか気になるところはないか				

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

指示された薬は忘れずに服用しましょう

病院で処方された薬は、消化薬や化学療法剤で、手術後の状態を安定させるためや手術の治療効果を高めるために必要なものです。薬を服用するように医師から指示された場合には、指示された通りに忘れずに正しく服用しましょう。

薬を飲んで副作用や気になることがあれば、医師または看護師にご相談ください。

悩んでいるのはあなただけではありません

あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、家族とともに医師や看護師とのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と向きあう気持ちが大切です。

まだまだ不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。そして、その多くの方が、病気を克服し、充実した人生を送っていることを忘れないでください。決して自分のからに閉じこもってしまわないように、希望を持って前向きに生活を送ってください。

大腸がん術後連携パス　患者様用
連携治療同意書

説明日：
病院名：
説明者：

1　StageO、Ⅰ

様

検査機関	術後月数(ヶ月)	1	6	12	18	24	36	48	60
か・拠点	血液検査	○	○	○	○	○	○	○	○
か・拠点	胸部XP		○	○	○	○	○	○	○
か・拠点	腹部CT又はUS		○	○	○	○	○	○	○
か・拠点	下部内視鏡検査			○			○		○

1ヶ月後は退院後の初外来受診日です。

診療連携拠点病院

病院受診　主治医：　外来：　曜日

連絡先：

手術後	1ヶ月後	6ヶ月後	1年後	1.5年後	2年後	3年後	4年後	5年後
日時	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月

かかりつけ医受診　病院・診療所名：

連絡先：

手術後	→ 1年後	→ 5年後
日時	2～4週毎に受診	1～6ヶ月ごとに受診

上記スケジュールにより連携治療をおこなうことになります。
検査は忘れずに受けてください。
気になることがあればいつでもご相談下さい。
　以上のように連携パスによる拠点病院主治医とかかりつけ医で連携治療をおこなうことをご理解いただけ、了解されましたらご署名をお願いいたします。

同意日：平成　　年　　月　　日

患者様名（自署）：

○：必須項目　△：必要時に行います

かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医と拠点病院
3年10ヶ月	3年11ヶ月	4年
適宜受診		月　日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		○
		○
		△
△	△	△

～メモ～

大腸がん術後予定表(3年7ヶ月～4年)

			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
（術後）			3年7ヶ月	3年8ヶ月	3年9ヶ月
			適宜受診		
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重				
	視触診	腹部理学所見			
		一般的内科的診察			
		直腸指診（直腸癌）			
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9				○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
自己検診	体重				
	腹部の症状(はりや痛み)はないか				
	便通の異常はないか				
	吐き気・嘔吐はないか				
	全身倦怠感はないか				
	口内炎はないか				
	そのほか気になるところはないか				

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

大腸がん術後連携パス　患者様用
連携治療同意書

説明日：
病院名：
説明者：

2 大腸がん術後連携パス　　様

StageⅡ～Ⅲ　化学療法なし

検査機	術後月数（ヶ月）	1	3	6	9	12	15	18	21	24	30	36	42	48	54	60
か・拠点	血液検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
か・拠点	胸部XP			○		○		○		○	○	○	○	○	○	○
か・拠点	腹部CT又はUS		○	○		○		○		○	○	○	○	○	○	○
か・拠点	下部内視鏡検査		▲			○				△		○		△		○

1ヶ月後は退院後の初外来受診日です。
▲術前閉塞により観察できていない場合は3ヶ月ごろに施行します。
△前年の所見によって施行するか判断します。

診療連携拠点病院
病院受診　主治医：　　外来：　曜日
連絡先：

手術後	1ヶ月後	3ヶ月後	6ヵ月後	1年後	1.5年後	2年後	2.5年後	3年後	3.5年後	4年後	4.5年後	5年後
日時	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月

かかりつけ医受診　病院・診療所名：
連絡先：

手術後	→ 1年後	→ 5年後
日時	2～4週毎に受診	1～6ヶ月ごとに受診

上記スケジュールにより連携治療をおこなうことになります。
検査は忘れずに受けてください。
気になることがあればいつでもご相談下さい。
　以上のように連携パスによる拠点病院主治医とかかりつけ医で連携治療をおこなうことをご理解いただけ、了解されましたらご署名をお願いいたします。

同意日：平成　　年　　月　　日

患者様名（自署）：

大腸がん術後連携パス　患者様用
連携治療同意書

説明日：
病院名：
説明者：

3-1 ユーエフティ / ユーゼル療法

様

抗癌剤（ユーエフティ/ユーゼル)を半年間内服します。
4週間内服1週間休薬で5コース行います。

検査機関	化学療法開始後(週数)	0	2	5	10	15	20	25
か・拠点	血液検査	●	○	○	○	●	○	●
か・拠点	胸腹部CT				○			○
か・拠点	下部内視鏡検査				▲			

●：腫瘍マーカー(CEA、CA19-9など)も測定
▲：術前閉塞により観察できていない場合は3ヶ月ごろに施行。

診療連携拠点病院
病院受診　主治医：　外来：　曜日
連絡先：

術後月数（ヶ月）	1		2	3	4	5	6
化学療法開始後(週数)	0	2	5	10	15	20	25
外来受診	/	/	/	/	/	/	/

かかりつけ医受診
病院・診療所名：
連絡先：

手術後	→ 半年後
日時	2週毎に受診

上記スケジュールにより連携治療をおこなうことになります。
検査は忘れずに受けてください。
気になることがあればいつでもご相談下さい。
　以上のように連携パスによる拠点病院主治医とかかりつけ医で連携治療をおこなうことをご理解いただけ、了解されましたらご署名をお願いいたします。

同意日：平成　年　月　日

患者様名（自署）：

○:必須項目　△:必要時に行います
□:ステージⅢ大腸癌の際には実施

かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医 または 拠点病院
3年4ヶ月	3年5ヶ月	3年6ヶ月
適宜受診		月　日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		□
		□
△	△	△

～メモ～

大腸がん術後予定表(3年1～6ヶ月)

			（術後）	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
				3年1ヶ月	3年2ヶ月	3年3ヶ月
				適宜受診		
診察	問診	食欲		○	○	○
		腹部症状				
		排便				
	体重					
	視触診	腹部理学所見				
		一般的内科的診察				
		直腸指診（直腸癌）				
採血	血算・生化学			△	△	○
	CEA・CA19-9					○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査					
	腹部超音波あるいはCT検査					
	大腸内視鏡検査					
投薬	一般薬			△	△	△
自己検診	体重					
	腹部の症状(はりや痛み)はないか					
	便通の異常はないか					
	吐き気・嘔吐はないか					
	全身倦怠感はないか					
	口内炎はないか					
	そのほか気になるところはないか					

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

大腸がん術後連携パス　患者様用
連携治療同意書

説明日：
病院名：
説明者：

4-1　ゼローダ療法

様

抗癌剤（ゼローダ）を半年間内服します。
2週間内服1週間休薬で8コース行います。

検査機関	化学療法開始後(週数)	0	3	6	9	12	15	18	21	24
か・拠点	血液検査	●	○	○	○	●	○	○	○	●
か・拠点	胸腹部CT					○				○
か・拠点	下部内視鏡検査					▲				

●：腫瘍マーカー(CEA、CA19-9など)も測定
▲：術前閉塞により観察できていない場合は3ヶ月ごろに施行。

診療連携拠点病院　主治医：　外来：　曜日

病院受診　連絡先：

術後月数（ヶ月）	1				4				7
化学療法開始後(週数)	0	3	6	9	12	15	18	21	24
外来受診	/	/	/	/	/	/	/	/	/

かかりつけ医受診　病院・診療所名：
連絡先：

手術後	→ 半年後
日時	2週毎に受診

上記スケジュールにより連携治療をおこなうことになります。
検査は忘れずに受けてください。
気になることがあればいつでもご相談下さい。
　以上のように連携パスによる拠点病院主治医とかかりつけ医で連携治療をおこなうことをご理解いただけ、了解されましたらご署名をお願いいたします。

同意日：平成　　年　　月　　日

患者様名（自署）：

大腸がん術後連携パス　患者様用
連携治療同意書

説明日：
病院名：
説明者：

5-1 ティーエスワン（TS-1）療法　　様

抗癌剤（ TS-1）を半年間内服します。
4週間内服2週間休薬で4コース行います。

検査機関	化学療法開始後（週数）	0	2	4	8	12	16	20	24
か・拠点	血液検査	●	○	○	○	●	○	○	●
か・拠点	胸腹部CT					○			○
か・拠点	下部内視鏡検査					▲			

●：腫瘍マーカー（CEA、CA19-9など）も測定
▲：術前閉塞により観察できていない場合は3ヶ月ごろに施行。

診療連携拠点病院
病院受診　主治医：　　外来：　　曜日
連絡先：

術後月数（ヶ月）	1		2	3	4	5	6	7
化学療法開始後（週数）	0	2	4	8	12	16	20	24
外来受診	/	/	/	/	/	/	/	/

かかりつけ医受診　病院・診療所名：
連絡先：

手術後	→ 半年後
日時	2週毎に受診

上記スケジュールにより連携治療をおこなうことになります。
検査は忘れずに受けてください。
気になることがあればいつでもご相談下さい。
　以上のように連携パスによる拠点病院主治医とかかりつけ医で連携治療をおこなうことをご理解いただけ、了解されましたらご署名をお願いいたします。

同意日：平成　　年　　月　　日

患者様名（自署）：

○：必須項目　△：必要時に行います

かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医と拠点病院
2年10ヶ月	2年11ヶ月	3年
適宜受診		月　日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		○
		○(CTが望ましい)
		○
△	△	△

～メモ～

大腸がん術後予定表(2年7ヶ月～3年)

			（術後）		
			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			2年7ヶ月	2年8ヶ月	2年9ヶ月
			適宜受診		
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	体重				
	視触診	腹部理学所見			
		一般的内科的診察			
		直腸指診（直腸癌）			
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9				○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査				
	腹部超音波あるいはCT検査				
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
自己検診	体重				
	腹部の症状(はりや痛み)はないか				
	便通の異常はないか				
	吐き気・嘔吐はないか				
	全身倦怠感はないか				
	口内炎はないか				
	そのほか気になるところはないか				

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

大腸がん術後連携パス　患者様用
連携治療同意書

3,4,5-2

StageⅡ～Ⅲ　補助化学療法
半年から～5年目

様

検査機関	術後月数(ヶ月)	9	12	15	18	21	24	30	36	42	48	54	60
か・拠点	血液検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
か・拠点	胸部XPまたはCT		○		○		○	○	○	○	○	○	○
か・拠点	腹部CT		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
か・拠点	下部内視鏡検査		○				△		○		△		○

診療連携拠点病院
病院受診　主治医：　外来：　曜日
連絡先：

手術後	9ヶ月後	1年後	15ヶ月後	1.5年後	21ヶ月後	2年後	2.5年後	3年後	3.5年後	4年後	4.5年後	5年後
日時	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月	年月

かかりつけ医受診　病院・診療所名：
連絡先：

手術後	→ 2年後	→ 5年後
日時	2～4週毎に受診	1～6ヶ月ごとに受診

検査は忘れずに受けてください。
気になることがあればいつでもご相談下さい。

大腸がん術後予定表(1～6ヶ月)

○:必須項目　△:必要時に行います

（術後）			かかりつけ医と拠点病院	かかりつけ医または拠点病院	かかりつけ医または拠点病院	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医または拠点病院
			1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	2年4ヶ月	2年5ヶ月	2年6ヶ月
			毎月受診	毎月受診	月　日	適宜受診		
診察	問診	食欲	○	○	○	○	○	○
		腹部症状						
		排便						
	体重							
	視触診	腹部理学所見						○
		一般的内科的診察				△	△	○
		直腸指診（直腸癌）						○
採血	血算・生化学		▲	▲	○			○
	CEA・CA19-9				○			○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							○
	腹部超音波あるいはCT検査							○
	大腸内視鏡検査				●			
投薬	一般薬		△	△	△	△	△	△
	補助化学療法薬		▲	▲	▲			
自己検診	体重							
	腹部の症状(はりや痛み)はないか							
	便通の異常はないか							
	吐き気・嘔吐はないか							
	全身倦怠感はないか							
	口内炎はないか							
	手足の皮膚の異常はないか							

～メモ～

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

大腸がん術後予定表(2年1～6ヶ月)

○:必須項目　●:術前閉塞で口側大腸の観察ができていないとき実施

△:必要時に行います　▲:補助化学療法施行時に実施

（術後）			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医または拠点病院	かかりつけ医または拠点病院	かかりつけ医と拠点病院
			2年1ヶ月	2年2ヶ月	2年3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6～7ヶ月
			適宜受診			毎月受診	毎月受診	月　日
診察	問診	食欲	○	○	○	○	○	○
		腹部症状						
		排便						
	体重							○
	視触診	腹部理学所見				▲	▲	○
		一般的内科的診察						○
		直腸指診（直腸癌）						
採血	血算・生化学		△	△	○			○
	CEA・CA19-9				○			○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							○
	腹部超音波あるいはCT検査							○
	大腸内視鏡検査							
投薬	一般薬		△	△	△	△	△	△
						▲	▲	▲
自己検診	体重							
	腹部の症状(はりや痛み)はないか							
	便通の異常はないか							
	吐き気・嘔吐はないか							
	全身倦怠感はないか							
	口内炎はないか							
	そのほか気になるところはないか							

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

～メモ～

＊あなたが手術を受けた日

平成　　年　　月　　日

大腸がん術後予定表(7ヶ月～1年)

○:必須項目　△:必要時に行います

（術後）			かかりつけ医 または 拠点病院	かかりつけ医 または 拠点病院	かかりつけ医 または 拠点病院	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医 と 拠点病院
			7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	1年10ヶ月	1年11ヶ月	2年
			毎月受診	毎月受診	毎月受診	適宜受診		月　日
診察	問診	食欲	○	○	○	○	○	○
		腹部症状						
		排便						
	体重							○
	視触診	腹部理学所見	▲	▲	○	△	△	○
		一般的内科的診察			○			○
		直腸指診（直腸癌）						○
採血	血算・生化学							
	CEA・CA19-9				○			○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							○(CTが望ましい)
	腹部超音波あるいはCT検査							△
	大腸内視鏡検査							△
投薬	一般薬		△	△	△	△	△	△
自己検診	体重							
	腹部の症状(はりや痛み)はないか							
	便通の異常はないか							
	吐き気・嘔吐はないか							
	全身倦怠感はないか							
	口内炎はないか							
	そのほか気になるところはないか							

～メモ～

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

大腸がん術後予定表(1年7ヶ月～2年)

○:必須項目　△:必要時に行います

▲:補助化学療法施行時に実施

（術後）			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医または拠点病院	かかりつけ医または拠点病院	かかりつけ医と拠点病院
			1年7ヶ月	1年8ヶ月	1年9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	1年
			適宜受診			毎月受診	毎月受診	月　日
診察	問診	食欲	○	○	○	○	○	○
		腹部症状						
		排便						
	体重							○
	視触診	腹部理学所見				▲	▲	○
		一般的内科的診察						○
		直腸指診（直腸癌）						○
採血	血算・生化学		△	△	○			○
	CEA・CA19-9				○			○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							○(CTが望ましい)
	腹部超音波あるいはCT検査							○
	大腸内視鏡検査							○
投薬	一般薬		△	△	△	△	△	△
自己検診	体重							
	腹部の症状(はりや痛み)はないか							
	便通の異常はないか							
	吐き気・嘔吐はないか							
	全身倦怠感はないか							
	口内炎はないか							
	そのほか気になるところはないか							

～メモ～

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

大腸がん術後予定表(1年1～6ヶ月)

○:必須項目　△:必要時に行います

（術後）			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医と拠点病院
			1年1ヶ月	1年2ヶ月	1年3ヶ月	1年4ヶ月	1年5ヶ月	1年6ヶ月
			適宜受診			適宜受診		月　日
診察	問診	食欲	○	○	○	○	○	○
		腹部症状						
		排便						○
	体重					△	△	○
	視触診	腹部理学所見						○
		一般的内科的診察						
		直腸指診（直腸癌）						○
採血	血算・生化学		△	△	○	△	△	○
	CEA・CA19-9				○			○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							○
	腹部超音波あるいはCT検査							○
	大腸内視鏡検査							
投薬	一般薬		△	△	△	△	△	△
自己検診	体重							
	腹部の症状(はりや痛み)はないか							
	便通の異常はないか							
	吐き気・嘔吐はないか							
	全身倦怠感はないか							
	口内炎はないか							
	そのほか気になるところはないか							

～メモ～

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう